

平成30年度第9回県政参画電子アンケート
鳥取県の消防に関するアンケート
結果概要

1 調査概要

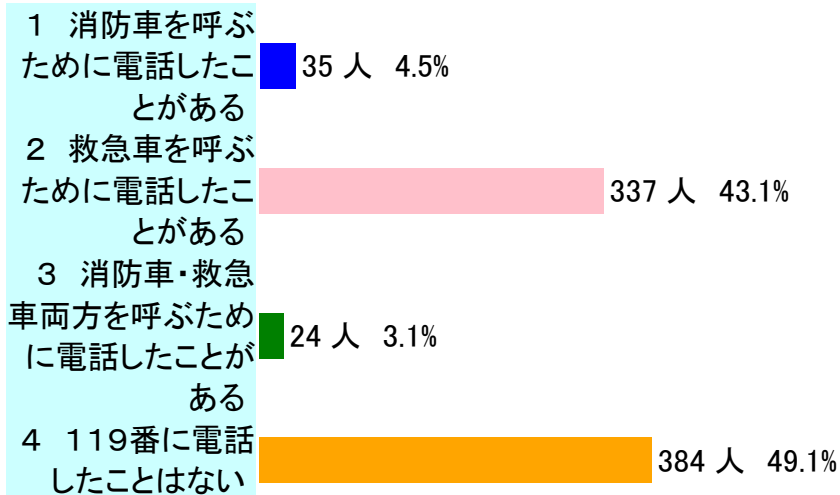
- テーマ 鳥取県の消防
- 実施期間 平成30年12月14日～12月25日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 1048名
- 回答数 782件(回答率 75%)

2 目的・概要

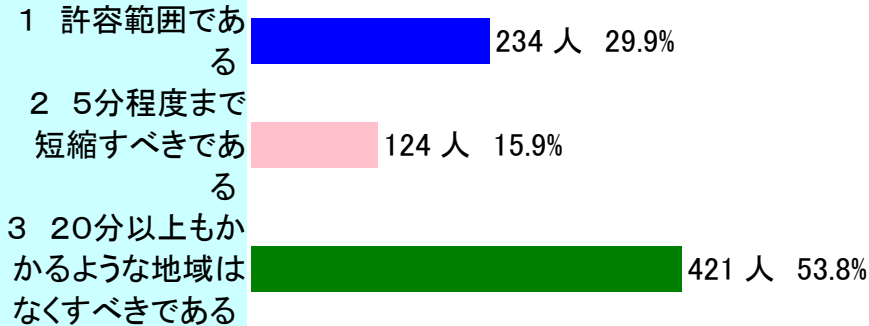
鳥取県内には、3つの消防局と19の消防団があり、平成30年4月現在、772名の消防職員と4,902名の消防団員で構成されています。東部に5署7出張所、中部に4署、西部に4署6出張所となっており、本署に約30名から50名程度、各支所約10名～15名程度の配置となっています。

今後の消防体制について検討するため、県民の皆さんにアンケートを行いました。

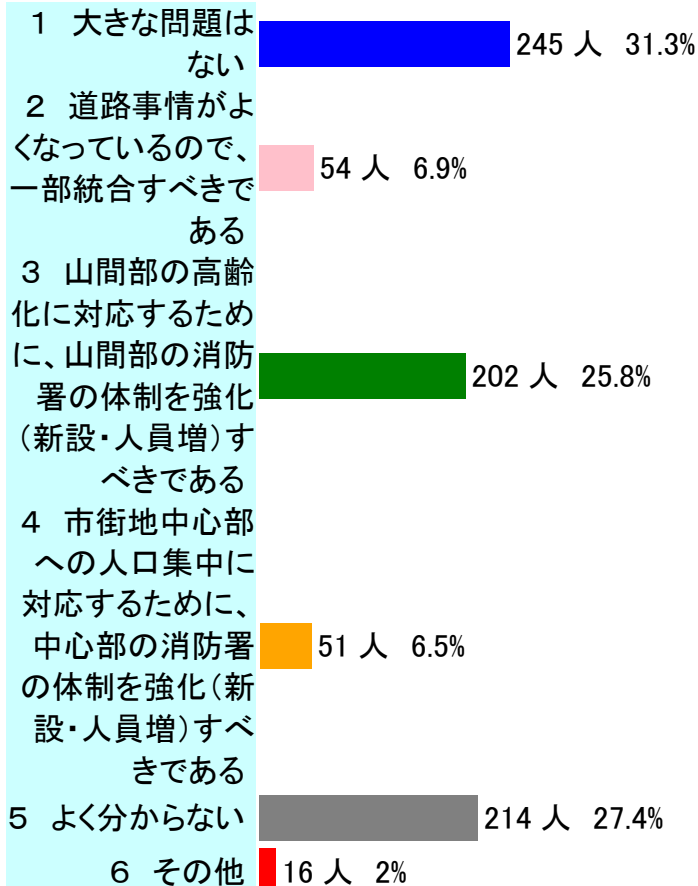
【問1】あなた(家族、知人を含む)は、119番に電話したことがありますか。



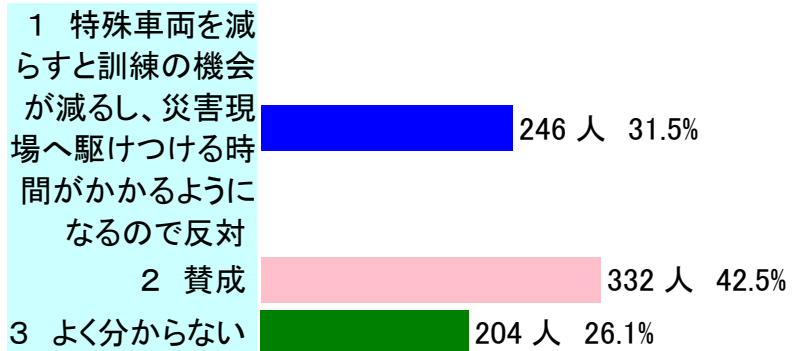
【問2】119番通報を受けて消防車や救急車が到着する時間は、全国・鳥取県平均とも9分弱であり、中には到着までに20分以上かかったケースが全体の約2%弱あります。このことについてどのように思いますか。



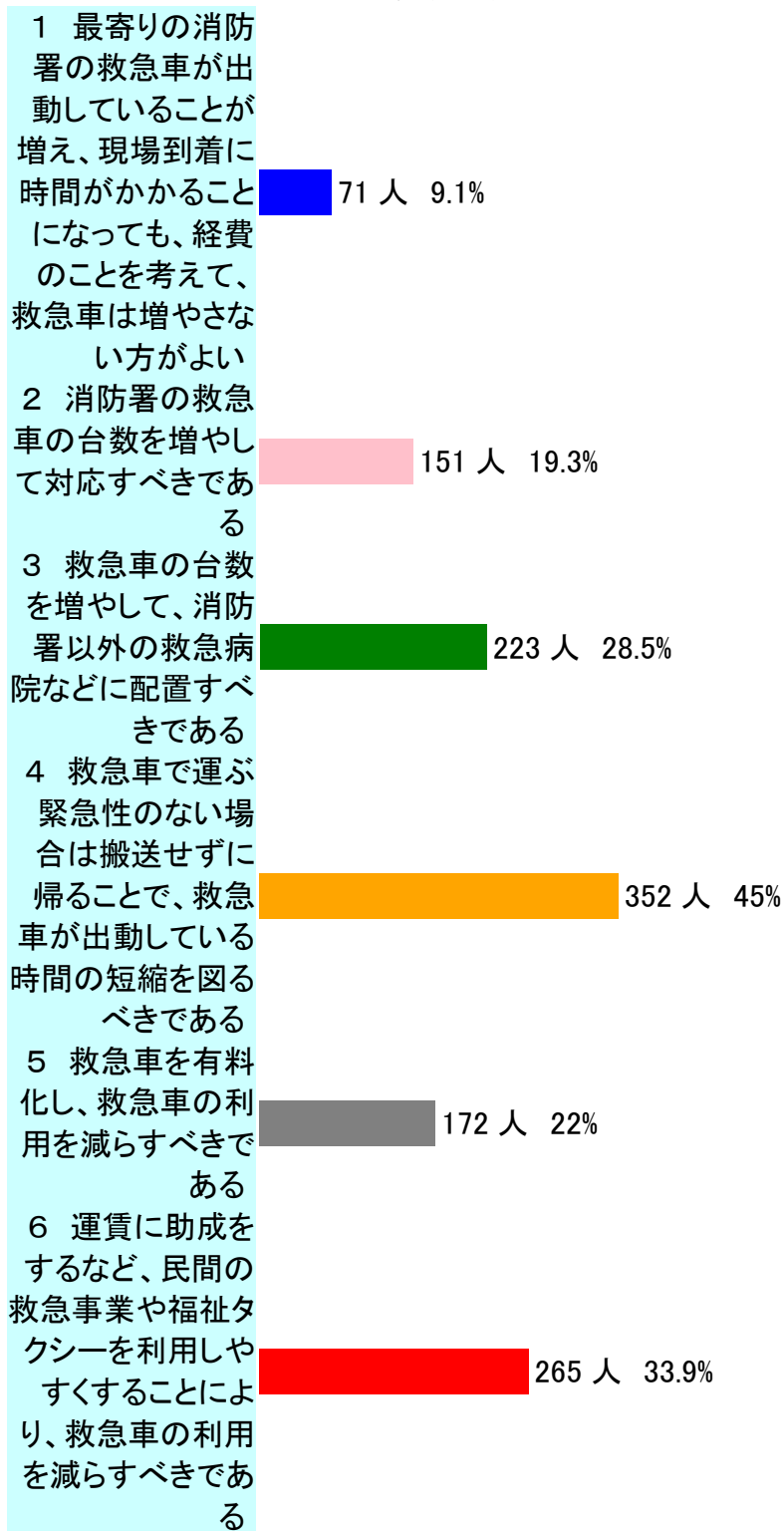
【問3】現在の消防署や出張所(東部12か所、中部4か所、西部10か所)が設けられている場所や消防署員の数(各署約30~50名程度、各出張所約10名~15名程度)についてどう思いますか。



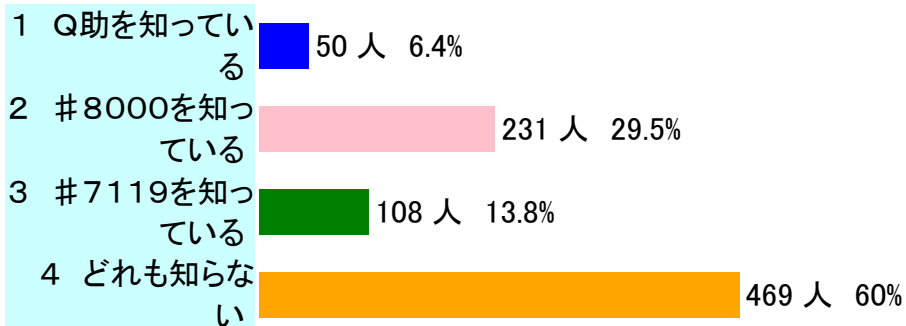
【問4】経費を減らすため、使用頻度の低い特殊な消防車を複数の消防局で共同運用することについて、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。



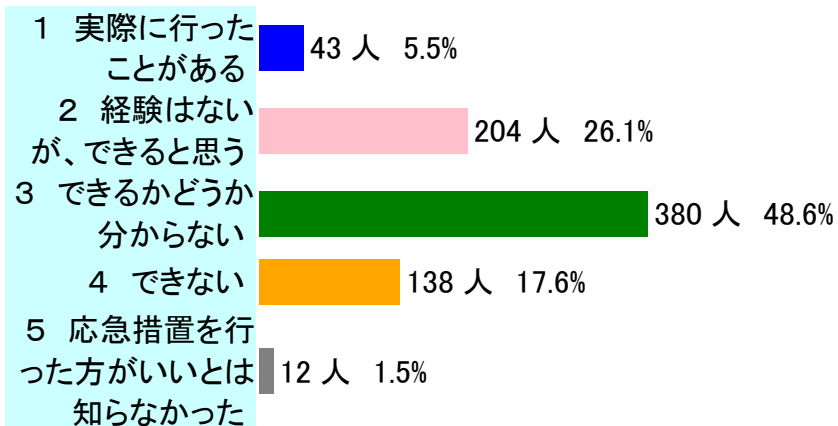
【問5】救急車の出動回数は年々増加傾向にあります、このことについてあなたの考えに近いものを選んでください。(複数選択可)



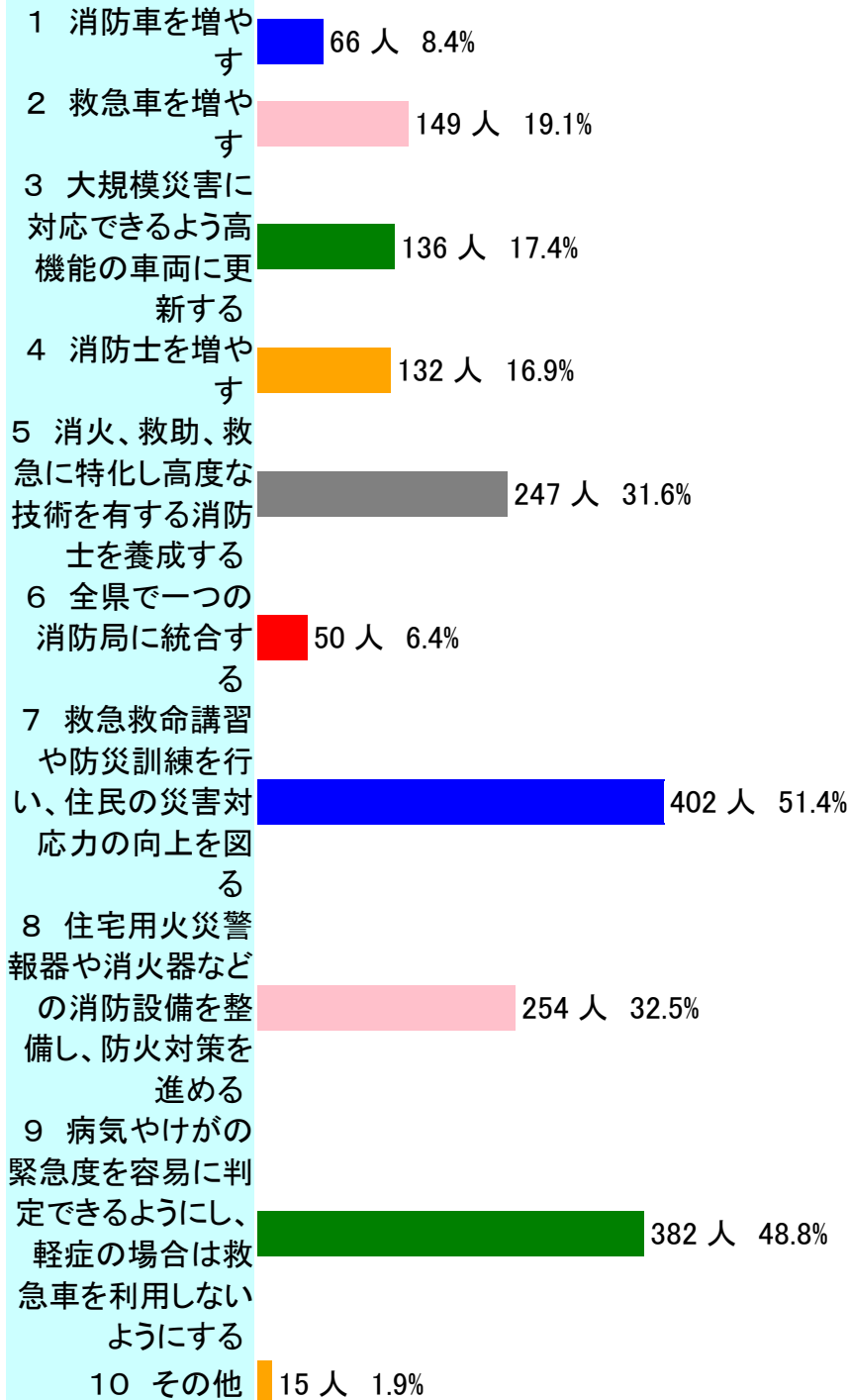
【問6】あなたは、病気やけがの状態が救急車を呼ぶべきかどうかを調べるアプリ(Q助)や、電話相談ができる「とっとり子ども救急ダイヤル」(#8000)、「おとな救急ダイヤル」(#7119)を知っていますか。(複数選択可)



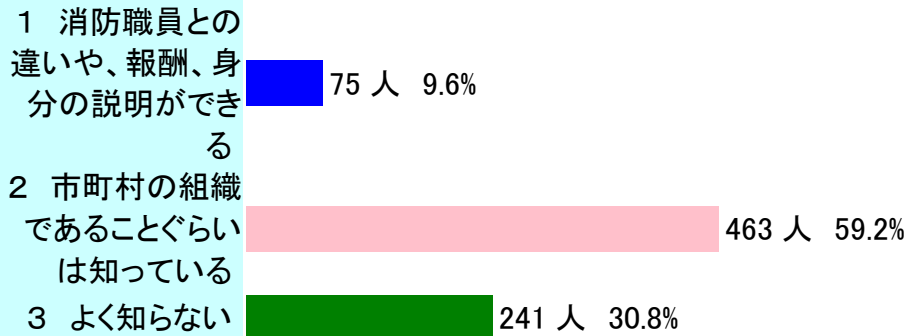
【問7】救急車が到着するまでの間、そばにいる方が応急措置を行えば救命率の向上につながります。あなたは、応急措置を行うことができますか。



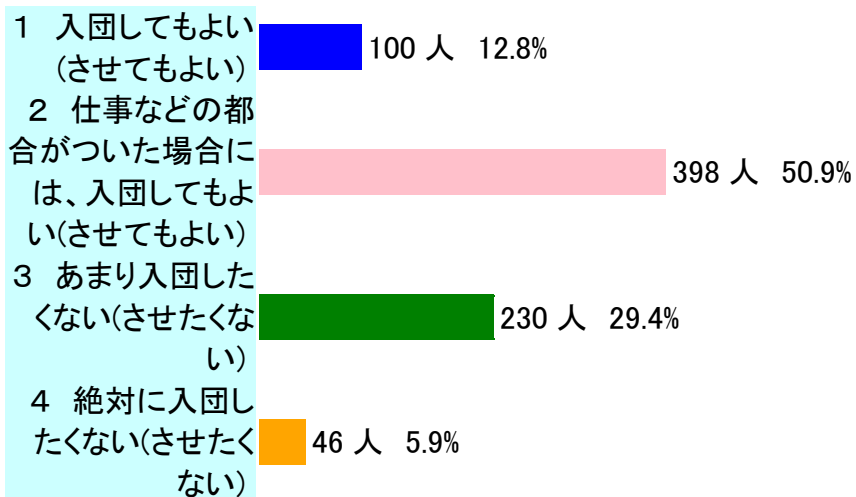
【問8】鳥取県の消防力を高めるために必要な施策は何だと思えますか。(3つまで)



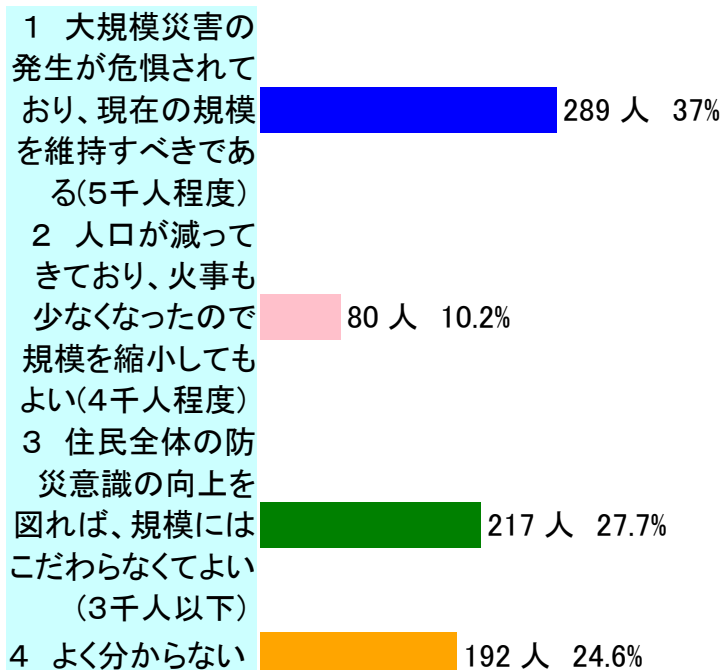
【問9】あなたは、消防団についてどれぐらい知っていますか。



【問10】あなたやあなたのご家族が消防団に入団するよう誘われたらどうしますか。



【問11】鳥取県内には約4,900人の消防団員がいますが、この規模についてあなたの考えに最も近いものを選んでください。



【問12】女性の消防団員が増えてきていますが、あなたはどのように思いますか。

1 災害時には、
男性も女性も関係
なく、力を合わせ
て活動するのが望
ましいので、女性
を増やすべきであ
る

215人 27.5%

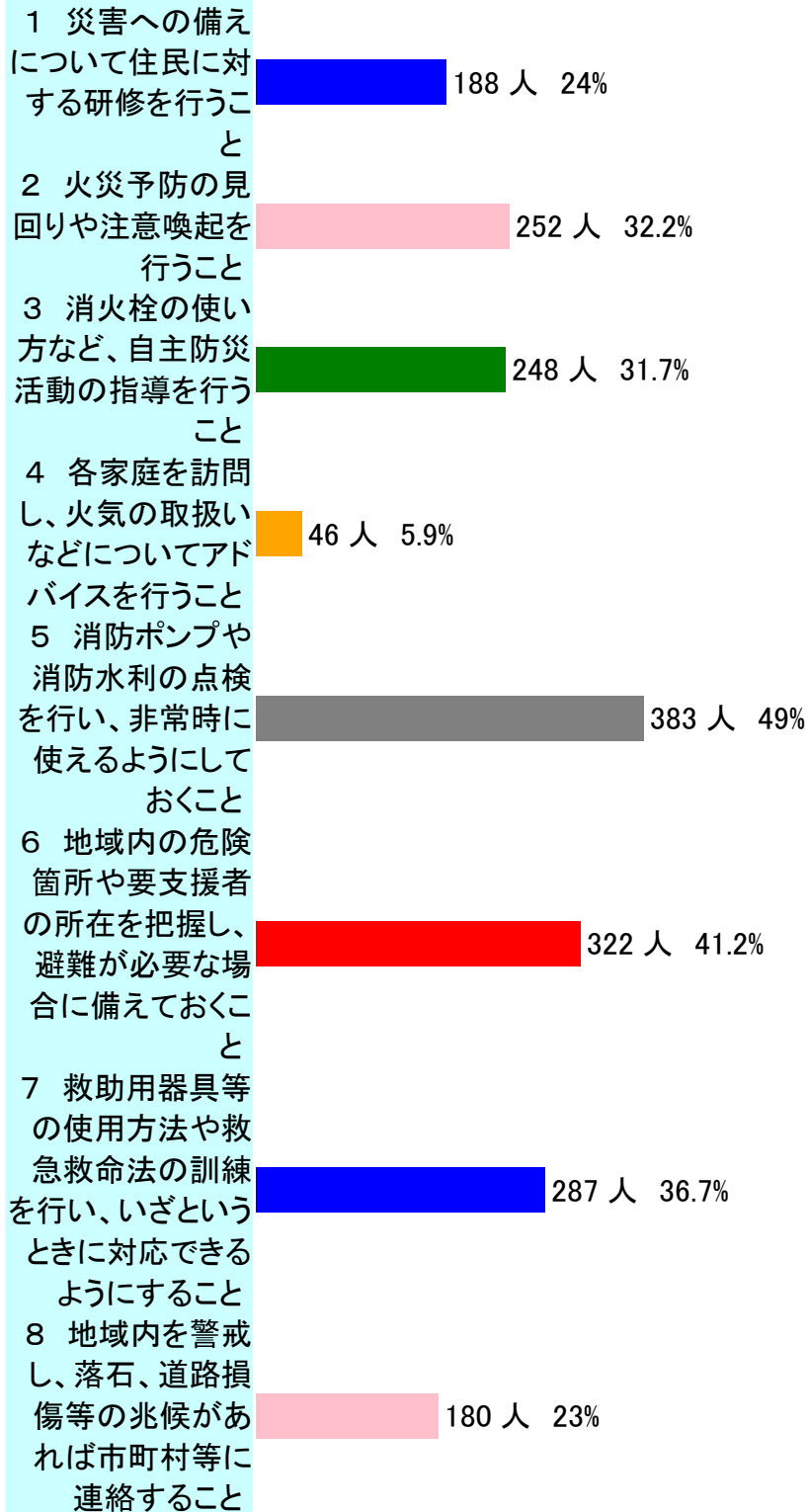
2 女性でないと
気づかないこと
や、女性がいるこ
とで安心すること
もあるので女性が
ある程度いること
が望ましい

509人 65.1%

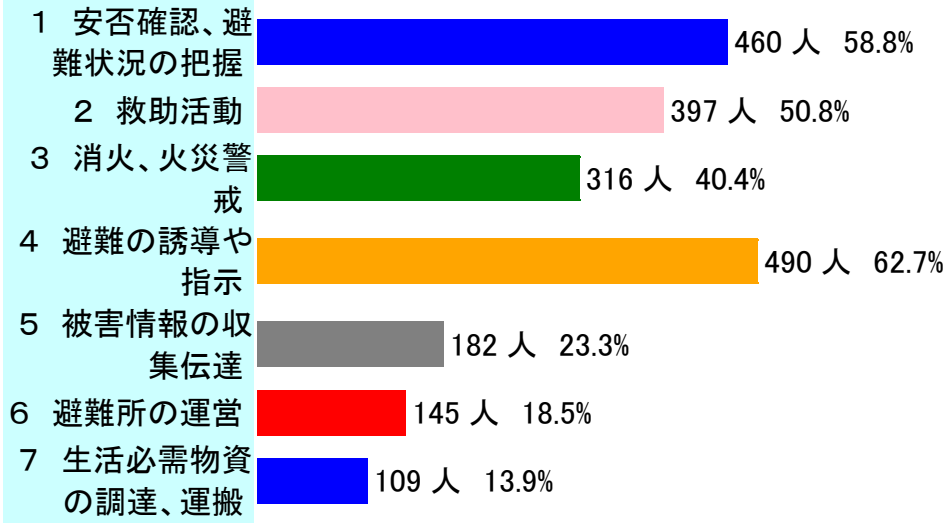
3 災害現場では
男性の方が頼りに
なり、女性は後方
支援や予防啓発
をするべきなの
で、女性はあまり
増やさない方がよ
い

52人 6.6%

【問13】あなたは、日頃、消防団にやってもらいたいことは何ですか。(3つまで)



【問14】あなたは、消防団が災害時に果たすべき役割は何だと思いますか。(3つまで)

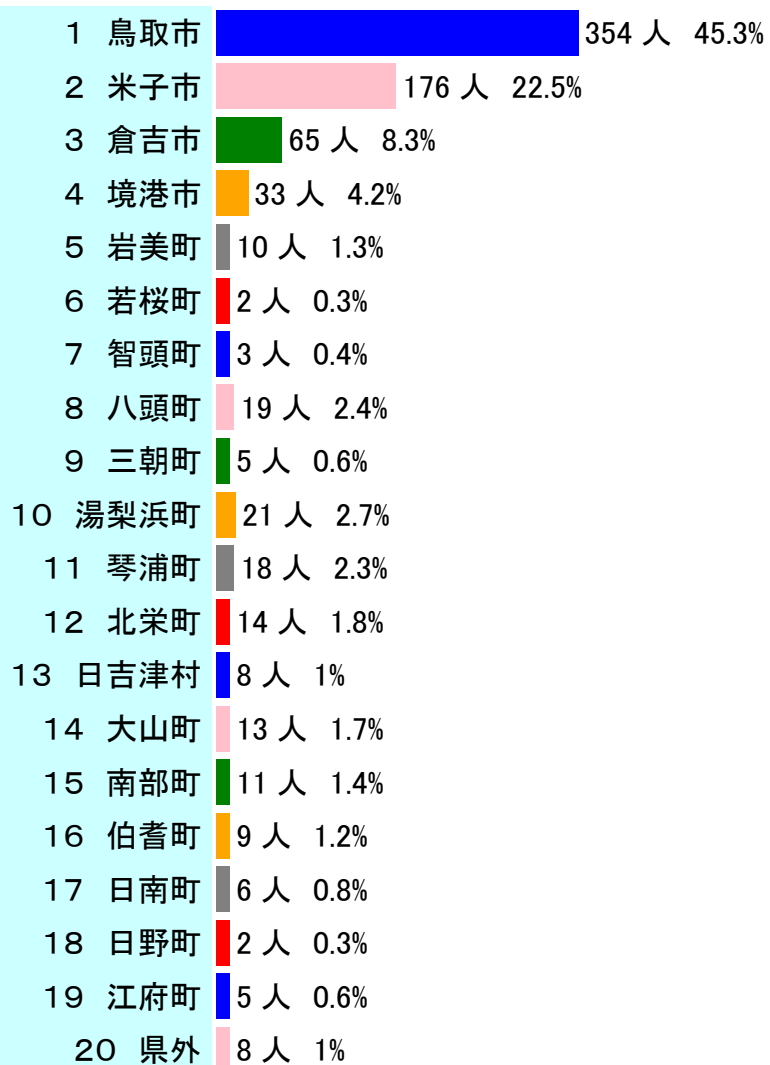


○属性

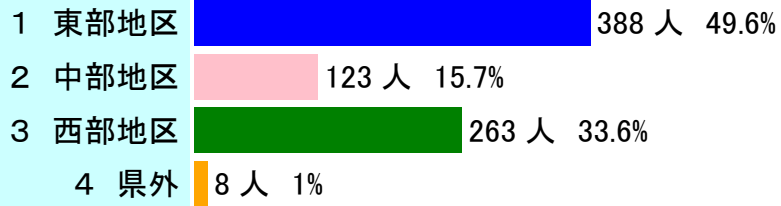
性別



市町村



地区別



年齢

